

令和7年
2025年

4月8日
火曜日

第11687号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



「ラムバサダーフェスティバル」大盛況……P4～5

- ▶ [全国の食肉推定在庫・2月] 全在庫は前年同月比9・7%増……………P2
- ▶ 新たな養豚農業の振興に関する基本方針を報告—畜産部会……………P3
- ▶ [調理食品支出金額・2月] 合計1万2106円で0・5%増……………P3
- ▶ 「ラムバサダーフェスティバル」大盛況、プロジェクト開始から10周年の節目……………P4～5
- ▶ スターゼンがブロードウォーターダウンス社でレセプションパーティー……………P5
- ▶ 群馬県前橋市の養豚場で豚熱、約6800頭が殺処分—農水省……………P5
- ▶ [牛肉需給動向・2月] 推定出回り量は前年比6・3%減……………P6
- ▶ スターゼンが豪州の牛肥育農場関連企業子会社化完了……………P6
- ▶ [豚肉需給動向・2月] 推定出回り量は前年同月比5・0%増……………P7
- ▶ みどり戦略学生チャレンジの参加登録開始—農水省……………P7
- ▶ [鶏肉需給動向・2月] 推定出回り量は前年同月比6・6%減……………P8
- ▶ まい泉「アスパラの巻きかつ」期間限定発売……………P8
- ▶ [資料] 2025年2月分の食肉輸入通関実績①……………P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 7日……………P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 7日……………P11

注目のヘッドライン

【全国の食肉推定在庫・2月】全在庫は前年同月比9・7%増

農畜産業振興機構が公表した2月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は58万2392t(前年同月比9・7%増)と前年同月を上回り、前月比でも0・1%の増加となった。

…詳細はP2

新たな養豚農業の振興に関する基本方針を報告—畜産部会

…詳細はP3



Nipponham Group
たんぱく質を、もっと自由に。

食肉施設の設計・施工・コンサルタント

— 食肉業界をリードする —



〒110-0016 東京都台東区台東4-20-5
☎03-3834-1561(代) <https://hanaki-eng.co.jp/>

【全国の食肉推定在庫・2月】 全在庫は前年同月比9・7%増

農畜産業振興機構が公表した2月分の食肉等の推定月末在庫によると、全在庫は58万2392t(前年同月比9・7%増)と前年同月を上回り、前月比でも0・1%の増加となった。

畜種別では牛肉の輸入在庫が12万2960t(4・5%増)となり、前月からは2・5%減。国産在庫は1万125t(11・5%減)となり、前月比でも0・1%減となった。牛肉全体の推定在庫は13万3085t(3・1%増)となり、前月比では2・3%減となった。

豚肉は輸入在庫が19万2819t(16・4%増)と前

年同月から増加。前月比でも1・2%増となった。一方、国産在庫は2万4121t(12・5%増)と前年同月を上回り、前月比でも2・5%増となった。豚肉全体の推定在庫は21万6940t(15・9%増)となり、前月比でも1・4%増となった。

また、鶏肉の輸入在庫は13万9214t(12・1%増)と増加し、前月並みとなった。国産在庫は2万5720t(26・2%減)となり、前月からは2・0%減となった。鶏肉全体の推定在庫は16万4934t(3・7%増)となり、前月からは0・3%減となっている。

[2025年2月の食肉の推定在庫]

単位:トン、比率%

区分		9月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	対前月比	対前年比	
牛	全在庫	180,245	175,733	167,008	156,538	157,510	156,570	99.4	106.3	
	冷凍品	161,887	159,146	150,025	140,233	141,564	141,637	100.1	106.8	
	冷蔵品	18,358	16,587	16,983	16,305	15,946	14,933	93.6	101.6	
	未通関計	24,397	19,425	19,350	16,043	21,279	23,485	110.4	129.3	
	推定期末在庫	155,848	156,308	147,658	140,495	136,231	133,085	97.7	103.1	
	冷凍品	138,274	139,870	130,952	124,437	120,313	118,348	98.4	103.3	
	冷蔵品	17,574	16,438	16,706	16,058	15,918	14,737	92.6	101.5	
	肉	輸入在庫計	144,550	145,078	136,791	129,801	126,100	122,960	97.5	104.5
		冷凍品	128,182	129,844	121,318	114,974	111,234	109,309	98.3	105.1
		冷蔵品	16,368	15,234	15,473	14,827	14,866	13,651	91.8	100.1
国産在庫計		11,298	11,230	10,867	10,694	10,131	10,125	99.9	88.5	
冷凍品		10,092	10,026	9,634	9,463	9,079	9,039	99.6	85.6	
冷蔵品		1,206	1,204	1,233	1,231	1,052	1,086	103.2	123.8	
豚	全在庫	238,323	240,303	230,632	220,553	228,090	231,414	101.5	118.4	
	冷凍品	223,324	224,376	216,852	205,762	212,734	216,081	101.6	118.8	
	冷蔵品	14,999	15,927	13,780	14,791	15,356	15,333	99.9	113.0	
	未通関計	15,546	16,997	14,446	12,359	14,046	14,474	103.0	174.4	
	推定期末在庫	222,777	223,306	216,186	208,194	214,044	216,940	101.4	115.9	
	冷凍品	208,521	207,714	202,660	193,617	198,982	202,122	101.6	116.1	
	冷蔵品	14,256	15,592	13,526	14,577	15,062	14,818	98.4	113.7	
	肉	輸入在庫計	201,197	201,922	194,797	185,736	190,508	192,819	101.2	116.4
		冷凍品	187,468	186,835	181,727	171,973	175,901	178,519	101.5	116.5
		冷蔵品	13,729	15,087	13,070	13,763	14,607	14,300	97.9	114.8
国産在庫計		21,580	21,384	21,389	22,458	23,536	24,121	102.5	112.5	
冷凍品		21,053	20,879	20,933	21,644	23,081	23,603	102.3	113.1	
冷蔵品		527	505	456	814	455	518	113.8	89.6	
鶏	全在庫	176,434	180,983	178,308	171,211	172,714	171,643	99.4	103.6	
	未通関計	6,762	7,669	8,205	6,706	7,302	6,709	91.9	100.8	
	推定期末在庫	169,672	173,314	170,103	164,505	165,412	164,934	99.7	103.7	
	肉	輸入在庫計	136,518	141,112	139,323	134,940	139,154	139,214	100.0	112.1
国産在庫計		33,154	32,202	30,780	29,565	26,258	25,720	98.0	73.8	
羊	全在庫	4,823	4,615	4,098	3,563	3,396	3,195	94.1	96.5	
	未通関計	402	320	311	327	258	217	84.1	161.9	
	推定期末在庫	4,421	4,295	3,787	3,236	3,138	2,978	94.9	93.7	
	肉	輸入在庫計	4,288	4,165	3,669	3,122	3,032	2,863	94.4	93.7
国産在庫計		133	130	118	114	106	115	108.5	94.3	
その他	全在庫	20,614	21,408	21,445	20,195	19,857	19,570	98.6	102.5	
	未通関計	554	1,064	484	628	899	736	81.9	119.9	
	推定期末在庫	20,060	20,344	20,961	19,567	18,958	18,834	99.3	101.9	

新たな養豚農業の振興に関する基本方針を報告—畜産部会

農水省がこのほど開催した食料・農業・農村政策審議会畜産部会(令和6年度第12回)で、「新たな養豚農業の振興に関する基本方針」について報告された。

最近の養豚農業を取り巻く状況は、生産コストの低減や生産性の向上とともに人材の確保や作業の省力化が課題となっている。また、臭気に対する地域住民からの苦情問題や悪臭防止法への対応、水質汚濁防止法に基づく硝酸性窒素などの一般排水基準への移行に向けた対応等、生産コストを抑えつつ確かな環境対策を行うこと、さらに、農場における疾病対策およびバイオセキュリティの強化なども課題だ。

基本方針では、養豚農業が直面する課題に対処するためには、生産コストの低減が重要であり、その手段として、規模拡大だけでなく、効率的な生産システムの導入や各種経営診断を用いた経営改善・飼養

管理技術の向上、優良種豚の活用、ICT技術の活用などを通じて、養豚農業の経営安定を図ることとする。飼料価格の高止まりへの対応としては、飼料要求率の改善を推進する。また、食品残さや、国産飼料の利用を推進することにより、循環型社会の形成および飼料自給率の向上に貢献する。

臭気や水質汚濁などの地域環境問題への対策として、各農場の臭気発生源や施設構造に合わせた最適な脱臭装置の整備や汚水処理の自動制御の導入等最新の技術を活用して、豚の排せつ物処理の高度化を進める。加えて、各農場での日々の飼養衛生管理の徹底や空海港における水際対策の強化などにより、豚の伝染性疾病の侵入・まん延の防止を推進する。さらに、特色ある銘柄豚の生産、国産飼料利用、環境への配慮などを通じたブランド化により、販売を強化し、経営の安定に資するとともに、豚肉の生産・消費を拡大することを目指す。

【調理食品支出金額・2月】 合計 1万2106円で0・5%増

総務省家計調査(既報)によると、2月の調理食品支出金額は1万2106円(前年同月比0・5%増)と増加した。

弁当や調理パンなどの主食的調理食品の支出金額は5582円(0・2%増)となった。他の調理食品は6524円(0・7%増)と増え、このうち焼き鳥は193円(14・9%増)、コロッケは193円(9・7%増)、カツレツは179円(9・1%増)、ハンバーグは136円(5・4%増)、ギョーザは174円(3・0%増)、天ぷら・フライは1039円(0・6%増)と前年を上回ったが、シューマイは89円(9・2%減)で前年割れだった。

調理食品支出金額

	12月		1月		2月	
	金額	指数	金額	指数	金額	指数
調理食品	17,078	103.2	12,726	103.3	12,106	100.5
主食的調理食品	6,403	103.7	5,630	103.7	5,582	100.2
弁当	1,558	101.0	1,438	102.6	1,335	102.5
すし(弁当)	1,720	103.9	1,420	103.6	1,615	94.1
おにぎり・その他	545	110.5	484	111.0	450	101.8
調理パン	568	100.5	533	102.1	533	99.8
他の主食的調理食品	2,013	104.7	1,755	103.4	1,649	104.7
他の調理食品	10,675	102.9	7,096	102.9	6,524	100.7
うなぎのかば焼き	127	90.7	90	88.2	104	109.5
サラダ	611	116.8	552	117.4	498	110.7
コロッケ	194	104.3	186	101.6	193	109.7
カツレツ	169	93.4	179	99.4	179	109.1
天ぷら・フライ	1,439	103.8	1,067	98.4	1,039	100.6
シューマイ	105	109.4	96	97.0	89	90.8
ギョーザ	171	104.3	165	98.8	174	103.0
焼き鳥	262	109.2	209	109.4	193	114.9
ハンバーグ	139	96.5	129	102.4	136	105.4
冷凍調理食品	1,018	102.6	903	108.9	895	103.0
総菜材料セット	413	96.5	332	105.1	303	92.4
他の調理食品のその他	6,027	102.2	3,187	101.2	2,720	97.1

資料：総務省「家計調査報告(全国・全世帯1世帯あたり品目別)」

「ラムバサダーフェスティバル」大盛況 プロジェクト開始から10周年の節目

オーギー・ラムPR大使「ラムバサダー」による、羊肉の祭典「ラムバサダーフェスティバル」(主催＝ラムバサダーフェスティバル準備委員会、MLA、共催＝中野区観光協会、運営・協力＝羊齧協会)が5～6日の2日間にかけて、東京都中野区の中野セントラルパークで開催された。MLAが日本市場における羊肉需要をさらに盛り上げるため、さまざまなジャンルの食のスペシャリストたちを「ラムバサダー」に任命し、2015年の末年から活動をスタートしてから、今年は10周年の節目。22年からは世界10カ国以上の国と地域に広がり、世界中でラムバサダーが活躍するグローバルプロジェクトとなった。

初の2日間開催となる今回も開始前からブースに行列ができる盛況ぶり。ラムバサダーがそれぞれ自慢のメニューや夢のコラボで、来場者に羊肉の魅力を訴求した。5日には北海道ジンギスカン応援隊のマスコットでラムバサダーでもある「ジンギスカンのジンくん」(上写真)も登場。毎年、大行列となる「ラムバサダー・ラムチョップ」のブース(下写真)では、8人のラムバサダーが考案した8種類のオリジナルソースのラムチョップを2日間合計2400本販売した。

MLAの三橋一法ビジネスディベロップメントマネージャーは、ラムバサダー10周年について「現在総勢20人になったラムバサダーたちとこれまでさまざまな活動を行い、こうして10周年を迎えることができ、本当にうれしい。日本で生まれたラムバサダーが今ではグローバルプログラムになったが、やはり日本のラムバサダーの活動が世界で一番活発だ。最近は海外のメンバーが日本の活動を学びに来るなど、国際交流も増加。今後は日本と世界のラムバサダーとのコラボイベントなどもやってみたい」と意欲をみせた。

また、今年の活動については「オーギー・ラムはもちろん、さまざまな国の羊肉が日本で消費され、羊肉市場の裾野を拡大することが重要。MLAとしては今回のラムバサダーフェスティバルや秋の羊フェスタに加え、5月末には昨年続き万博開催で盛り上がる大阪でもラムバサダーフェスティバルを開催予定だ。また、昨年秋には瀬戸内で羊肉イベントを開催、非常に盛り上がるなど、西日本でも着実に羊肉需要は伸び



ている。さらに国内において圧倒的な羊肉消費量を誇る北海道において、インバウンド需要なども意識して例えばラムチョップなど、ジンギスカン以外の羊肉メニューの提案を進めたい」と強調した。

今回のブースと担当ラムバサダー、主なメニューは次のとおり。

【ラムバサダーメンバーブース】「ラムバサダー・ラムチョップ」(毛塚智之、宮川順子、東澤壮晃、石井秀代、福田浩二、桑折敦子、東浩司、宮島由香里、ラムチョップ日替わり特製ソース付き)▷「味坊」(梁宝璋、沢樹舞、羊肉串、羊肉ミニまん)▷「チンギス飯ズ」(関澤波留人、シャンカール・ノグチ、南アジアのパプリカキーマカレー)▷「カレーだっし！」(カレーマン、羊肉スパイスソーセージ「メルゲーズ」)▷「ジンギスカンのジンくん」(ジンくん、ぬいぐるみや限定くじ)

そのほか、「北海道ジンギスカン応援隊」のブースでは、「味付ジンギスカングランプリ」の初代グランプリ商品「白樺ジンギスカン」をもやしとセットにした鍋を提供。さらに1955年に日本橋で「元祖紙やきホルモサ」として創業し、今年3月に人形町にリニュー

アル移転した「ラムラムラム」(秘伝のたれで煮るマトン鍋)、「出汁と羊」がコンセプトの「おだしのだしお」(ラムの濃厚マサラ煮、羊飼いのソーセージ)、西早稲田と高田馬場で羊肉専門店を展開する「羊のロッ

ヂ」(ラムパクチー)、年間10万人がリピートする「大衆ジンギスカン酒場 ラムちゃん」(塩び熟成ジンギスカン)などが出店した。

スターゼンがブロードウォーターダウنز社とレセプションパーティー

スターゼンは4日、ブロードウォーターダウنز社(BROAD WATER DOWNS Pty Ltd=BWD)ら豪州の牛肥育関連企業の株式取得に先立ち、仕入れ先や取引先、スターゼンオーストラリア、BWD現地社員との交流を深め、スターゼングループを知ってもらうことを目的に、豪州のBurke&Wills HotelでBWD社レセプションパーティーを開催した。

式典にはスターゼンの横田和彦社長、鷗橋正雄常務執行役員、若松威男上席執行役員海外本部長や、スターゼンオーストラリアの新林SZ豪州社長、ブロードウォーターダウنزの田口社長、(株)水迫ファームの水迫栄治社長をはじめ、BWD社の仕入れ先や取引先などが参加した。

冒頭、横田社長は「スターゼンは1955年10月に、オーストラリアから初めて冷凍の牛肉をテスト輸入した。第二次世界大戦が終わって10年。牛肉はまだほとんどの国民が口にすることがない時代から、先の需要増に向け当社のチャレンジが始まった。その後、豪州への牛肉産業視察団を派遣するなどして、今から53年前の72年に、現在のスターゼンオーストラリア社の前身となる、ゼンチクオーストラリア社を設立し、豪州からの食肉輸入事業を本格的に進めた。豪州の現地企業と合弁で会社を設立。ここのフィードロットで肥育されたチルドビーフが、初めて日本に輸入されたのも、この頃であり、今年で61歳になる私が、まだ9歳の時からの息の長いビジネスを続けている。マッコリー牧場が当社グループ入りをしたことで、豪州の素晴らしい環境で育てられた牛肉を、当社のブランド牛



肉として日本また、豪州国内のみならず全世界に向けて販売できる機会を得ることができた」と70年にわたる同社と豪州牛肉産業との関わりについて説明。



また、「スターゼングループの掲げる経営理念は『食の感動体験を創造することで、世界中の人々と食をつなぎ続ける』。今回、皆さんとともに進めるこの事業は、まさにグループの経営理念を実現するための取り組みとなる。われわれの事業は、IT、半導体の事業などとは異なり、スピード重視ではなく、じっくりと腰を据えて取り組まなければならない。10年、20年またその先と、皆さんの子供たちや、孫の世代になっても、このBWD社のマッコリー牧場で肥育された牛肉が世界中の人々に届けられ、たくさんの『ありがとう』がきけるような事業となっていることを願う」と述べた。加えて、水迫社長を生産肥育アドバイザーとして迎えたことを発表した。

群馬県前橋市の養豚場で豚熱、約6800頭が殺処分—農水省

農水省は4日、群馬県前橋市の養豚農場で豚熱が確認されたことを受け、「農林水産省豚熱・アフリカ豚熱防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の

対応方針について決定した。

なお、この発生を受け、群馬県前橋市の養豚約6800頭が殺処分となる。

[牛肉需給動向・2月] 推定出回り量は前年比6・3%減

農畜産業振興機構が発表した2月分の牛肉需給動向によると、推定出回り量は5万8094t(前年同月比6・3%減)と前年同月を下回った。このうち国産品は2万5602t(3・0%減)、輸入品は3万2493t(8・7%減)となった。

国内生産量は2万6345t(2・1%減)だった一方、輸入量は2万9353t(5・3%減)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が1万125t(11・5%減)、輸入品が12万2960t(4・5%増)で合計13万3085t(3・1%増)となった。

[牛肉需給]

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量		
			輸入物	国産物	輸入物	国産物	
4年	11	35,525(104.0)	39,413(92.4)	150,014(118.9)	12,699(89.7)	41,250(83.5)	35,235(104.2)
	12	31,727(101.2)	37,456(82.0)	142,876(118.7)	12,690(93.9)	44,594(86.6)	30,858(99.3)
5年	1	26,660(103.5)	39,915(98.8)	143,273(118.1)	11,956(90.5)	39,518(100.1)	26,963(105.4)
	2	26,497(107.4)	37,987(100.6)	142,589(119.4)	12,345(87.7)	38,671(97.5)	25,467(109.1)
	3	29,499(103.4)	36,768(108.4)	137,128(119.6)	12,596(95.6)	42,229(109.2)	28,484(98.8)
	4	30,207(101.6)	67,921(110.4)	147,784(129.4)	12,371(104.8)	57,265(92.4)	29,694(97.1)
	5	27,295(102.1)	46,459(101.5)	148,317(125.4)	12,252(97.8)	45,926(110.3)	26,851(105.4)
	6	28,418(102.7)	43,663(75.7)	148,065(114.2)	12,243(95.5)	43,915(94.7)	27,806(103.5)
	7	30,671(102.0)	38,693(74.4)	146,616(106.7)	12,474(94.1)	40,142(90.7)	29,809(102.8)
	8	26,782(101.0)	45,668(85.4)	148,038(101.0)	12,343(93.2)	44,246(100.1)	26,275(101.5)
	9	28,100(100.0)	37,023(71.3)	143,424(94.2)	12,902(94.6)	41,637(89.8)	26,739(99.0)
	10	30,422(105.4)	40,334(83.0)	137,851(90.8)	13,026(99.5)	45,907(93.8)	29,462(103.1)
	11	35,030(98.6)	33,409(84.8)	125,976(84.0)	12,805(100.8)	45,284(109.8)	34,409(97.7)
	12	31,557(99.5)	36,092(96.4)	117,207(82.0)	12,619(99.4)	44,861(100.6)	30,833(99.9)
6年	1	27,314(102.5)	43,264(108.4)	122,238(85.3)	11,618(97.2)	38,233(96.7)	27,712(102.8)
	2	26,904(101.5)	31,010(81.6)	117,666(82.5)	11,442(92.7)	35,582(92.0)	26,385(103.6)
	3	28,696(97.3)	38,362(104.3)	111,229(81.1)	13,108(104.1)	44,799(106.1)	26,259(92.2)
	4	31,124(103.0)	63,202(93.1)	124,210(84.0)	11,835(95.7)	50,221(87.7)	31,618(106.1)
	5	28,270(103.6)	48,512(104.4)	128,998(87.0)	12,269(100.1)	43,724(95.2)	27,283(101.6)
	6	27,418(96.5)	47,574(109.0)	135,344(91.4)	11,885(97.1)	41,228(93.9)	27,030(97.2)
	7	32,089(104.6)	49,342(127.5)	140,727(96.0)	11,271(90.4)	43,959(109.5)	31,959(107.2)
	8	25,885(96.6)	48,897(107.1)	147,288(99.5)	10,966(88.8)	42,336(95.7)	25,425(96.8)
	9	28,276(100.6)	38,168(103.1)	144,550(100.8)	11,298(87.6)	40,906(98.2)	27,023(101.0)
	10	31,210(102.6)	43,933(108.9)	145,078(105.2)	11,230(86.2)	43,405(94.6)	30,469(103.4)
	11	34,984(99.9)	34,574(103.5)	136,791(108.6)	10,867(84.9)	42,861(94.6)	34,417(100.0)
	12	32,225(102.1)	39,209(108.6)	129,801(110.7)	10,694(84.7)	46,199(103.0)	30,631(99.3)
7年	1	27,305(100.0)	32,541(75.2)	126,100(103.2)	10,131(87.2)	36,242(94.8)	27,231(98.3)
	2	26,345(97.9)	29,353(94.7)	122,960(104.5)	10,125(88.5)	32,493(91.3)	25,602(97.0)

スターゼンが豪州の牛肥育農場関連企業子会社化完了

スターゼンは7日、昨年12月4日付「豪州の牛肥育農場関連企業の株式取得(子会社化)に関するお知らせ」および今年2月13日付「豪州の牛肥育農場関連企業の株式取得(子会社化)日程変更のお知らせ」で開示した内容について、株式取得の手続きが完了したと発表した。

取得する子会社は、YORKRANGE Pty Ltdおよび同社の100%子会社で肥育、繁殖、農業事業を行うBROAD WATER DOWNS Pty Ltd(孫会社)。取得株式はYORKRANGE Pty Ltdの普通株式100株(議決権の数100個、議決権所有割合100%)。取得価額はYORKRANGE Pty Ltdの普通株式55・9百万豪ドル(55・9億円、1豪ドル=100円)、アドバイ

ザリー費用等(概算額)3・5百万豪ドル(3・5億円)、合計(概算額)59・4百万豪ドル(59・4億円)。

スターゼンは持続的成長の実現に向けて、2023年度を初年度とする中期経営計画で「新規事業への挑戦」を掲げている。その戦略の一つが「海外事業の強化」であり、豪州Wagyuをはじめとする豪州産牛肉の取り扱いを拡大させている。同社では「今回の子会社化はサプライチェーン強化に資すると考えており、自社で牛肥育企業を経営することで、給餌飼料や肥育方法の改善により品質を高め、自社ブランド牛の価値を向上させることが可能となり、顧客に一層満足してもらえる商品を提供していく」としている。

【豚肉需給動向・2月】 推定出回り量は前年同月比5・0%増

農畜産業振興機構が発表した2月分の豚肉需給動向によると、推定出回り量は14万1484t(前年同月比5・0%減)となった。このうち国産品は7万1884t(6・5%減)、輸入品は6万9600t(3・4%減)と減少した。

また、国内生産量は7万2607t(6・4%減)、輸入量は7万1911t(11・4%増)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が2万4121t(12・5%増)、輸入品が19万2819t(16・4%増)で合計21万6940t(15・9%増)となった。

【豚肉需給】

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入物	国産物	輸入物	国産物
4年 11	81,110(98.6)	87,886(112.0)	195,556(126.4)	18,751(86.8)	88,437(103.9)	81,919(100.0)
12	79,677(97.0)	68,853(92.5)	185,413(127.3)	19,816(86.5)	78,996(94.6)	78,456(97.3)
5年 1	77,322(97.2)	74,837(90.7)	188,666(122.5)	18,538(79.8)	71,584(96.5)	78,645(99.4)
2	72,986(98.9)	71,250(99.2)	189,121(121.2)	19,905(85.9)	70,795(101.4)	71,512(97.1)
3	81,689(98.3)	69,027(96.1)	189,572(121.4)	20,232(84.3)	68,576(95.5)	81,215(98.8)
4	73,794(96.8)	109,570(100.7)	204,045(120.0)	20,573(92.5)	95,097(100.2)	73,311(94.2)
5	76,116(105.0)	89,729(115.9)	223,902(126.5)	20,193(90.0)	69,872(99.2)	76,372(105.8)
6	73,486(100.4)	81,311(91.1)	225,208(117.1)	19,586(92.6)	80,005(108.2)	73,928(99.4)
7	68,264(101.2)	74,831(90.1)	220,067(110.0)	20,758(97.7)	79,972(106.3)	66,926(99.6)
8	70,175(99.5)	73,862(85.4)	217,704(104.7)	21,032(103.3)	76,225(97.0)	69,796(97.8)
9	69,500(95.5)	61,727(85.1)	203,477(99.5)	21,452(110.7)	75,954(99.9)	68,945(93.6)
10	78,467(103.9)	70,100(92.5)	192,812(98.3)	19,689(100.0)	80,765(96.0)	80,065(106.6)
11	82,650(101.9)	74,813(85.1)	184,253(94.2)	20,154(107.5)	83,372(94.3)	82,084(100.2)
12	81,152(101.9)	67,663(98.3)	170,120(91.8)	21,381(107.9)	81,796(103.5)	79,774(101.7)
6年 1	80,283(103.7)	72,027(96.2)	173,172(91.8)	20,836(112.4)	68,975(96.4)	80,748(102.7)
2	77,558(106.3)	64,527(90.6)	165,686(87.6)	21,439(107.7)	72,013(101.7)	76,853(107.5)
3	77,333(94.7)	74,351(107.7)	166,119(87.6)	23,117(114.3)	73,918(107.8)	75,518(93.0)
4	78,976(107.0)	98,780(90.2)	174,059(85.3)	22,670(110.2)	90,840(95.5)	79,317(108.2)
5	76,183(100.1)	94,087(104.9)	189,925(84.8)	24,239(120.0)	78,221(111.9)	74,520(97.6)
6	66,310(90.2)	81,660(100.4)	193,156(85.8)	24,750(126.4)	78,429(98.0)	65,692(88.9)
7	71,679(105.0)	86,155(115.1)	195,529(88.8)	23,227(111.9)	83,782(104.8)	73,101(109.2)
8	65,651(93.6)	84,078(113.8)	200,290(92.0)	22,108(105.1)	79,317(104.1)	66,675(95.5)
9	68,773(99.0)	78,666(127.4)	201,197(98.9)	21,580(100.6)	77,759(102.4)	69,219(100.4)
10	79,625(101.5)	86,742(123.7)	201,922(104.7)	21,384(108.6)	86,017(106.5)	79,699(99.5)
11	78,361(94.8)	78,216(104.5)	194,797(105.7)	21,389(106.1)	85,341(102.4)	78,249(95.3)
12	80,661(99.4)	76,518(113.1)	185,736(109.2)	22,458(105.0)	85,579(104.6)	79,425(99.6)
7年 1	79,908(99.5)	80,505(111.8)	190,508(110.0)	23,536(113.0)	75,733(109.8)	78,746(97.5)
2	72,607(93.6)	71,911(111.4)	192,819(116.4)	24,121(112.5)	69,600(96.6)	71,884(93.5)

みどり戦略学生チャレンジの参加登録開始—農水省

農水省はこのほど、大学生や高校生等の「みどりの食料システム戦略」に基づいた活動を表彰する「第2回みどり戦略学生チャレンジ」の参加登録を開始した。

農水省では、2050年に向けて、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するための新たな政策方針として、2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定し、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の環境負荷低減の取組を

推進することとしている。みどりの食料システム戦略の実現に向けて、将来を担う若い世代の環境に配慮した取り組みを促すため、大学生や高校生等の個人・グループがみどりの食料システム戦略に基づいた活動を実践する機会として「みどり戦略学生チャレンジ」を実施している。参加登録フォーム=https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kankyo/midori_challenge.html

【鶏肉需給動向・2月】 推定出回り量は前年同月比6・6%減

農畜産業振興機構が発表した2月分の鶏肉需給動向によると、推定出回り量は18万4864t(前年同月比6・6%減)と、前年同月から減少した。このうち国産品は13万7233t(2・6%減)、輸入品は4万7631t(16・6%減)となった。

また、国内生産量は13万6695t(5・4%減)、輸入量も4万7691t(13・9%減)と減少した。これにより、推定期末在庫は国産品が2万5720t(26・2%減)、輸入品が13万9214t(12・1%増)で合計16万4934t(3・7%増)となった。

〔鶏肉需給〕

単位:トン、%

年月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量	
			輸入物	国産物	輸入物	国産物
4年 11	144,253(98.1)	49,783(86.2)	129,939(113.3)	23,373(69.7)	47,346(92.3)	146,098(98.6)
	153,097(97.4)	44,279(73.0)	124,180(108.5)	24,644(69.5)	50,038(82.1)	151,826(97.8)
5年 1	137,012(99.8)	44,361(82.5)	125,588(101.9)	24,433(69.6)	42,953(95.5)	137,223(99.7)
	133,529(98.5)	47,115(95.0)	128,113(99.1)	24,979(73.7)	44,590(102.5)	132,983(97.3)
	142,908(99.4)	47,545(105.3)	126,853(101.4)	27,049(83.2)	48,805(99.1)	140,838(97.0)
	139,306(98.7)	47,412(108.8)	119,503(102.8)	27,547(87.9)	54,762(104.5)	138,808(97.5)
	142,849(102.8)	51,717(121.7)	127,502(110.2)	29,343(94.2)	43,718(101.5)	141,053(101.4)
	141,735(100.9)	57,706(110.6)	133,613(112.2)	28,598(93.7)	51,595(105.7)	142,480(101.0)
	133,663(100.5)	46,686(102.3)	129,613(107.0)	30,604(106.0)	50,686(116.4)	131,657(97.8)
	133,703(100.4)	55,955(118.1)	133,334(110.0)	31,998(112.3)	52,234(110.5)	132,309(99.1)
	135,797(100.3)	48,372(103.4)	132,497(109.3)	30,049(116.3)	49,209(105.2)	137,746(99.8)
	145,552(100.5)	47,805(88.6)	130,926(102.7)	29,754(118.0)	49,376(103.6)	145,847(100.3)
	146,801(101.8)	39,181(78.7)	119,960(92.3)	30,873(132.1)	50,147(105.9)	145,682(99.7)
	155,398(101.5)	50,981(115.1)	115,660(93.1)	33,551(136.1)	55,281(110.5)	152,720(100.6)
6年 1	140,093(102.0)	54,687(123.3)	125,877(100.2)	31,152(127.5)	44,470(103.5)	142,492(103.5)
	144,552(108.0)	55,395(117.6)	124,137(96.9)	34,868(139.6)	57,135(128.1)	140,836(105.6)
	143,802(100.4)	52,670(110.8)	129,110(101.8)	36,868(136.3)	47,697(97.7)	141,802(100.5)
	146,411(104.8)	52,006(109.7)	127,057(106.3)	35,506(128.9)	54,059(98.7)	147,773(106.2)
	147,168(103.0)	53,259(103.0)	131,041(102.8)	36,263(123.6)	49,275(112.7)	146,411(103.8)
	143,169(101.0)	49,373(85.6)	133,066(99.6)	36,708(128.4)	47,348(91.8)	142,724(100.2)
	139,722(104.5)	51,778(110.9)	133,594(103.1)	35,468(115.9)	51,250(101.1)	140,962(107.1)
	130,029(97.3)	56,697(101.3)	137,941(103.5)	35,094(109.7)	52,350(100.2)	130,403(98.6)
	135,916(100.1)	49,125(101.6)	136,518(103.0)	33,154(110.3)	50,548(102.7)	137,856(100.1)
	147,681(101.5)	62,323(130.4)	141,112(107.8)	32,202(108.2)	57,729(116.9)	148,633(101.9)
	144,235(98.3)	51,967(132.6)	139,323(116.1)	30,780(99.7)	53,756(107.2)	145,657(100.0)
	154,393(99.4)	49,932(97.9)	134,940(116.7)	29,565(88.1)	54,315(98.3)	155,608(101.9)
7年 1	139,100(99.3)	52,300(95.6)	139,154(110.5)	26,258(84.3)	48,086(108.1)	142,407(99.9)
	136,695(94.6)	47,691(86.1)	139,214(112.1)	25,720(73.8)	47,631(83.4)	137,233(97.4)

まい泉「アスパラの巻きかつ」期間限定発売

井筒まい泉(株)(東京都港区、國弘克英社長)は9日から「アスパラの巻きかつ」(税込み400円)を期間限定で販売する。

2008年の発売から17年目を迎えるロングセラーの同商品が今年も期間限定で登場。旬のアスパラガスを豚ロース肉で巻いたこのかつは、同社オリジナルのスパイスソルトを添えることでロース肉のうまみがより一層引き立ち、みずみずしいシャキシャキ感も存分に楽しめる。今年のアスパラガスは昨年に比べて2cmほど長く、さらにボリュームがアップ。食べ応えと満足感



たっぷりの一品となっている。

[資料] 2025年2月分の食肉輸入通関実績⑪

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
TOTAL	990 KG		259	342	259	342
1602.50-339			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%未満のもの)(米を含むも の)(気密容器入りのものを除く。)(野菜を含むもの を除く。)			
AUSTRAL	601 KG		15120	14390	23400	21920
TOTAL	990 KG		15120	14390	23400	21920
1602.50-390			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%未満のもの)(その他のもの)			
R KOREA	103 KG		1920	882	1920	882
CHINA	105 KG		39744	32642	41251	33879
TOTAL	990 KG		41664	33524	43171	34761
1602.50-510			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したも の)(気密容器入りのもの)(冷蔵及び冷凍のいずれ もしていないもの)			
NEWZELD	606 KG		-	-	13338	70819
TOTAL	990 KG		-	-	13338	70819
1602.50-590			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(調味した後に乾燥したも の)(気密容器入りのものを除く。)			
CHINA	105 KG		1185	6726	1185	6726
AUSTRAL	601 KG		-	-	2754	12868
TOTAL	990 KG		1185	6726	3939	19594
1602.50-600			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(コーンビーフ)			
PHILPIN	117 KG		-	-	6048	8224
NEWZELD	606 KG		-	-	10387	21004
TOTAL	990 KG		-	-	16435	29228
1602.50-700			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%以上のもの)(気密容器入りの もの)(野菜を含むもの)			
R KOREA	103 KG		10800	7343	10800	7343
CHINA	105 KG		9266	7266	18532	14635
AUSTRAL	601 KG		256553	247301	870259	829256
TOTAL	990 KG		276619	261910	899591	851234
1602.50-890			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%以上のもの)(気密容器入りの もの(冷蔵及び冷凍のいずれもしていないものに限 るものとし、野菜を含むものを除く。))(その他の もの)			
THAILND	111 KG		-	-	10506	15894
GERMANY	213 KG		-	-	1398	1453
TOTAL	990 KG		-	-	11904	17347
(E. U)	991 KG		-	-	1398	1453
1602.50-999			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛のもの)(臓器及び舌を除く含有量 の合計が全重量の30%以上のもの)(気密容器入りの ものを除く)(その他のもの)			
AUSTRAL	601 KG		-	-	7610	11628
TOTAL	990 KG		-	-	7610	11628

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE
ARGENT	413 KG		7600	4062	36544	19876
AUSTRAL	601 KG		500	267	500	267
TOTAL	990 KG		8100	4329	37044	20143
1602.90-210			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛、豚以外のもの)(牛若しくは豚の 肉又は牛若しくは豚のくず肉を含有するもの)			
R KOREA	103 KG		2880	1229	3720	1576
PHILPIN	117 KG		1080	1608	1080	1608
TOTAL	990 KG		3960	2837	4800	3184
1602.90-269			その他の調製をし又は保存に適する処理をした昆 虫類(その他のもの)			
CHINA	105 KG		200	4494	200	4494
TOTAL	990 KG		200	4494	200	4494
1602.90-290			その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、 くず肉及び血(牛、豚以外のもの)(その他のもの)			
CHINA	105 KG		45108	8518	45787	9390
TAIWAN	106 KG		1512	744	9827	6905
MONGOL	107 KG		500	600	700	840
GERMANY	213 KG		-	-	13164	14989
TOTAL	990 KG		47120	9862	69478	32124
(E. U)	991 KG		-	-	13164	14989
1603.00-010			肉エキス及びミートジュース			
CHINA	105 KG		400	1811	400	1811
TAIWAN	106 KG		165	1456	273	2195
FRANCE	210 KG		24200	32541	185200	249465
USA	304 KG		5	623	5	623
AUSTRAL	601 KG		19110	7082	50404	81830
NEWZELD	606 KG		960	3204	3360	10756
TOTAL	990 KG		44840	46717	239642	346680
(E. U)	991 KG		24200	32541	185200	249465
1603.00-090			魚又は甲殻類、軟体動物若しくはその他の水棲無脊 椎動物のエキス及びジュース			
R KOREA	103 KG		29480	25701	42993	37098
CHINA	105 KG		125344	51272	317770	158178
TAIWAN	106 KG		150	3258	150	3258
THAILND	111 KG		149421	69591	299573	123924
INDNSIA	118 KG		89080	28784	164900	57758
SPAIN	218 KG		59739	18731	119866	37609
USA	304 KG		35383	12856	49623	18652
NEWZELD	606 KG		170	1463	170	1463
TOTAL	990 KG		488767	211656	995045	437940
(E. U)	991 KG		59739	18731	119866	37609
3502.11-000			卵白(乾燥したもの)			
CHINA	105 KG		300	506	300	506
INDIA	123 KG		12000	11816	103950	102705
SWEDEN	203 KG		15645	16298	15645	16298
NETHLDs	207 KG		229250	222108	430750	421616
BELGIUM	208 KG		-	-	16000	18220
FRANCE	210 KG		85500	79472	182900	175118
GERMANY	213 KG		20000	19807	90000	88561
ITALY	220 KG		269774	274911	342236	352812
POLAND	223 KG		33800	30839	98800	96875
LITHUAN	237 KG		6600	6000	6600	6000
USA	304 KG		0	2771	0	4766
ARGENT	413 KG		34000	30881	57000	53206
TOTAL	990 KG		706869	695409	1344181	1336683
(E. U)	991 KG		660569	649435	1182931	1175500
3502.19-000			卵白(乾燥したものを除く。)			
LITHUAN	237 KG		-	-	22400	3521
BRAZIL	410 KG		-	-	48384	6826
TOTAL	990 KG		-	-	70784	10347
(E. U)	991 KG		-	-	22400	3521

(終わり)

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 4月7日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	4,683	3,210	2,203	-	-
		安値	2,267	2,163	2,112	-	-
		平均	3,047	2,563	2,165	-	-
	215頭	頭数	191	21	3	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,025	2,376	2,159	1,935	-
		安値	2,162	2,002	2,101	1,916	-
		平均	2,473	2,257	2,138	1,926	-
	81頭	頭数	61	15	3	2	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	1,911	-	-	-	
1頭	頭数	-	1	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,695	1,602	1,462	-
		27頭	頭数	-	6	16	5
	雌 C	平均	-	1,405	1,417	-	-
		2頭	頭数	-	1	1	-
	去 B	平均	-	1,673	1,601	1,406	-
		10頭	頭数	-	5	4	1
去 C	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	430 425	1,108 898	- 171.0	(競り)	(相対)	
				-	10	57

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	1,925	1,566	1,557	1,317	-
	B	-	1,395	-	1,323	-
和 去	A	2,542	2,156	-	1,774	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	863	-
	C	-	-	-	870	828
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,661	1,541	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	1,761	1,586	1,477	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	-	864	918	896	896
	安値	-	551	540	454	335
	平均	616	596	576	567	483
	頭数	(1)	(324)	(335)	(113)	(125)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	625	603	-
安値	-	-	615	591	-	
平均	-	642	621	597	-	
頭数	(-)	(1)	(5)	(4)	(-)	

[大阪食肉卸売市場] 4月7日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,668	2,429	-	-	-
(頭数)	(7)	(7)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(1)	(-)
和 去 A	2,772	2,478	-	-	-
(頭数)	(13)	(4)	(1)	(-)	(-)
B	2,402	-	-	-	-
(頭数)	(2)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,860	-	-	-
C	-	-	-	1,490	-
交雑去 B	-	1,860	1,655	1,501	-
C	-	1,604	1,603	1,478	-
豚	-	641	605	588	487

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	4月7日	4月4日	(4月累計)
豚	59,700	60,700	306,500
成牛計	4,840	4,340	22,720
和牛雌	1,030	1,180	5,650
和牛去勢	1,640	880	6,390
乳牛雌	350	750	3,430
乳牛去勢	470	300	2,120
交雑雌	500	740	2,500
交雑去	850	490	2,620

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 4月7日

	1,549円	(前日 1,499円)
東京		
大阪	1,619円	(前日 1,685円)

[豚・全農建値] 4月7日

上	中	取引頭数	市況
604円	583円	1,179頭	弱もちあい

と畜 売買	牛 127頭 牛 59頭	豚 52頭 豚 129頭	牛概況 豚概況	強含み まちまち
----------	-----------------	-----------------	------------	-------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 4月7日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (616)	- (-)	5,457	-	もちあい
仙台 [中]	539 (544)	483 (470)	388	139	小反落
栃木 [地]	569 (567)	536 (538)	1,533	88	もちあい
茨城 [地]	602 (602)	582 (575)	1,240	562	もちあい
群馬 [地]	624 (617)	536 (531)	2,239	173	続伸
さいたま [中]	600 (596)	587 (585)	227	229	強もちあい
東京 [中]	596 (613)	576 (585)	1,108	898	反落
横浜 [中]	616 (608)	587 (580)	680	660	上伸
山梨 [地]	- (-)	- (-)	107	45	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	584 (594)	548 (551)	952	278	弱もちあい
京都 [中]	627 (601)	614 (593)	104	65	もちあい
大阪 [中]	641 (-)	605 (-)	52	112	まちまち
神戸 [中]	- (602)	- (599)	148	-	上場なし
岡山 [地]	609 (661)	587 (672)	269	304	暴落
広島 [中]	588 (593)	557 (565)	224	47	続落
福岡 [中]	585 (584)	563 (547)	401	161	もちあい

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。京都の前日は5日。

[日本食肉流通センター] 3月31日～4月6日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

[食鳥正肉日経相場] 4月4日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇首都圏 総重量 1,355,741 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,086	1,190	1,274	1,193	50,586
うで	737	799	827	798	100,200
ロース	1,034	1,104	1,212	1,124	125,400
ばら	1,188	1,203	1,223	1,205	186,315
もも	771	799	811	795	127,332
ヒレ	1,129	1,173	1,184	1,158	10,581
セット	951	1,030	1,086	1,038	755,327

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	711	781	919	208
ムネ	381	425	535	187

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	714	788	1,010	3
ムネ	376	447	570	3

◇近畿圏 総重量 604,258 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,134	1,291	1,332	1,275	47,237
うで	734	775	799	773	100,472
ロース	1,069	1,177	1,268	1,185	77,502
ばら	1,188	1,225	1,291	1,242	97,835
もも	724	750	819	759	146,990
ヒレ	1,174	1,188	1,310	1,227	8,786
セット	928	1,004	1,098	1,010	125,436

[農水省統計情報部食鳥市況] 4月4日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,008	611	550	600	650
安値	690	376	290	360	350
平均	779	427	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

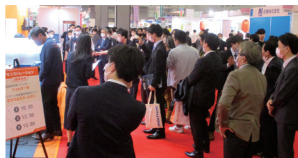
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

イベント

国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

教材&レポート等

あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

知識を豊かにする 食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

〜食肉のプロフェッショナルを育てる〜シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

ステーションナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。